

簡易型血管機能計測装置

～血管機能検査を病院からスポーツジムへ～

名古屋工業大学 工学研究科 教授 松本健郎、特任助教 宮城英毅、藤田保健衛生大学 医療科学部 講師 矢口俊之
株式会社ユネクス

▶〈関連ページ〉3、4、19、20、21、23ページ

狙い 予防医療普及には、医療機関外でも医療機関で行われる検査と同等な検査を、より簡易に行えるようにすることで、検査の日常化を計り、健康維持活動の成果確認や継続のモチベーションをもてる環境を整える必要がある。血管機能不全はあらゆる臓器不全の前兆として起こることが知られており、かつ短期間で変化がみられる健康指標であり、かつ悪化した際には重大な疾患につながることから、本装置の製品化を目指している。

用途 薬局、スポーツジム、健診施設などで、日頃から健康を気にかけている被験者を対象に血管機能を計測できる環境を提供する。健康管理の一つの指標値として利用し、健康維持活動の効果評価や、指標値の変化に基づく健診施設訪問のキッカケとしたり、サプリメント、機能的食品などの効果確認、生活習慣病リスクの高い生活習慣からの生活変容などへ繋げて行くスクリーニングデバイスとする。

特長

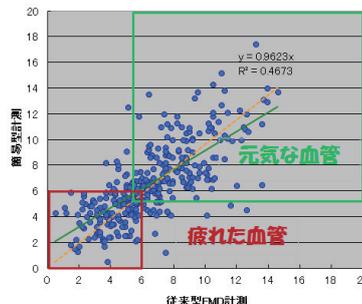
- 現在臨床現場で行われている血管内皮機能FMD検査は10～15分かかかるが、本装置では2～3分で検査が終了する。
- 従来はベッド上で仰臥位で計測しているが、座位で計測が可能であり、また血圧計測と同じように取り扱えるので、被験者の操作も可能となる。
- FMD検査結果と相関する計測値が得られる。

仕様

外 寸／W:700×H:1100×D:380mm
重 量／30kg(架台含む)
その他／電源:100V、表示:10インチ液晶



簡易型と従来型FMD計測の比較



- お問い合わせ／株式会社ユネクス 代表取締役 益田博之
e-mail: masuda_h@unex.co.jp 電話番号: 052-229-0820 FAX: 052-229-0823
- 特許の有無: 有